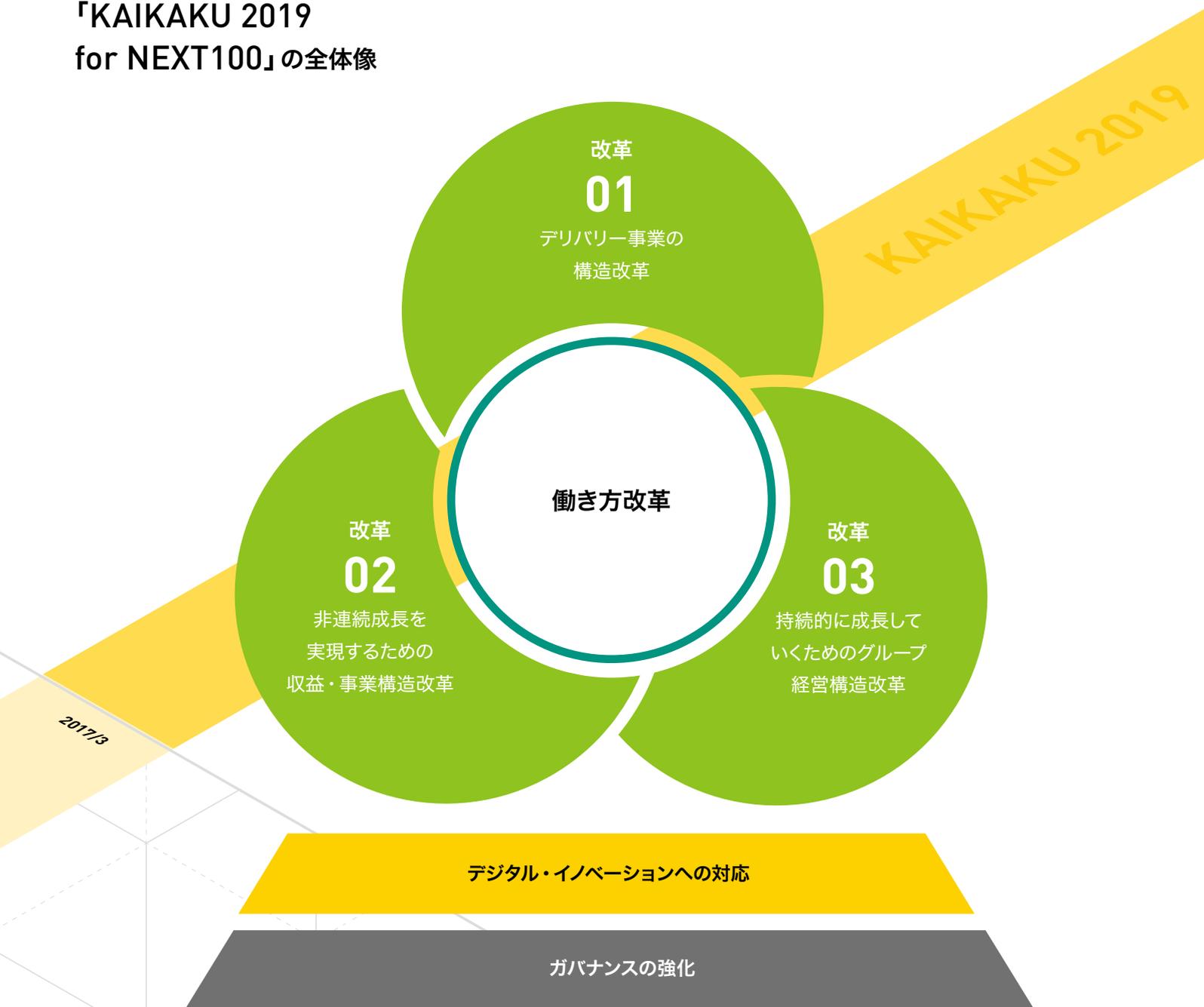


## 「KAIKAKU2019 for NEXT100」の振り返り

ヤマトグループは、創業100周年に当たる2019年を最終年度とする3か年の中期経営計画「KAIKAKU 2019 for NEXT100」を推進してきました。当社グループが持続的に成長していくための経営基盤を強化するため、「働き方改革」を経営の中心に据え、「デリバリー事業の構造改革」、「非連続成長を実現するための収益・事業構造改革」、「持続的に成長していくためのグループ経営構造改革」の3つの改革に取り組み、成果と課題が見えてきました。

## 「KAIKAKU 2019 for NEXT100」の全体像



2020/3  
(創業100周年)

for NEXT100

## ▶ 働き方改革

- ▶ 労働時間管理などのワークルールの厳格化や総労働時間の短縮、ワークライフバランスの推進など、働きやすい職場環境の構築に取り組み、社員の意識調査の結果も上昇するなど、着実に「働き方改革」を進めることができた
- ▶ 引き続き、社員の「働きやすさ」と「働きがい」を高め、お客様により良いサービスの提供を行っていく

• P26「全員経営を実践するための働き方改革」をご覧ください。

## ▶ 改革01：デリバリー事業の構造改革

- ▶ プライシングの適正化や集配体制の再構築は進展し、法人営業の強化やソーティング・システムなどの次なる成長に向けた施策も進めることができた
- ▶ 一方、取扱数量は回復の途上にある。また、ラストワンマイルだけではなく作業や事務領域の生産性向上も課題。「YAMATO NEXT100」において、デジタル化やロボティクスの導入などにより生産性の大幅な向上に努める

• P28「デリバリー事業の構造改革」をご覧ください。

## ▶ 改革02：非連続成長を実現するための収益・事業構造改革

- ▶ グループの一部の営業組織においては一体運営を開始するなど、グループとしてアカウントマネジメントを推進し、法人向け物流ソリューションの営業強化に取り組んでいるが、成果の刈り取りには至っていない
- ▶ 「YAMATO NEXT100」において、グループに点在する法人向けの経営資源を結集し、お客さま起点の物流ソリューションで成長を目指す

• P32「非連続成長を実現するための収益・事業構造改革」をご覧ください。

## ▶ 改革03：持続的に成長していくためのグループ経営構造改革

- ▶ 本質的な問題点を明らかにし、経営課題を設定。一部の施策は既に着手するなど構想から実行フェーズに移行することができた
- ▶ 「YAMATO NEXT100」において、抜本的な改革を進め、企業価値向上に努める

• P36「経営構造改革プラン『YAMATO NEXT100』」をご覧ください。